

会 議 録

(6-1)

会議の名称		令和7年度 第2回幸松地区地域づくり推進協議会					
開催日時		令和7年10月31日(金曜日)	<table border="1"> <tr> <td>開 会</td> <td>午後2時00分</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午後4時00分</td> </tr> </table>	開 会	午後2時00分	閉 会	午後4時00分
開 会	午後2時00分						
閉 会	午後4時00分						
開催場所		幸松市民センター2階 研修室A・B					
議長(会長等)氏名		会長 鈴木 敏仁					
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)					
		鈴木 敏仁、白石 栄二、菱沼 和保、高崎 光英、市川 大倫、 鈴木 淳子、田中 聖嗣、浅野 純子、根岸 ミサ子、土橋 洋子					
	説明者 その他	なし					
事務局		(出席人数：4人)					
		市民生活部長 飯口 信彦					
		幸松市民センター 田口 俊彦、吉田 美智代、蛭間 博文					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 (1) 令和7年度幸松市民センターで実施予定の地区センター事業について 4 協議事項について (1) 市民センターを拠点とした地域づくりについて ～幸松地区の活性化に向けた取り組みについて(意見交換及び意見集約)～ 5 その他 6 閉会 ※(すべて公開)					
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		資料1 次第3報告事項 資料2 次第4協議事項					
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【 1 . 開 会 】
	【 2 . あいさつ 】 《鈴木会長挨拶》
議長	議事録署名人として白石委員を指名。
議長	【 3 . 報告事項 】 (1) 令和 7 年度幸松市民センターで実施予定の地区センター事業について、事務局から説明を求める。
事務局	《資料に基づき説明》
	【 4 . 協議事項 】 (1) 市民センターを拠点とした地域づくりについて ～幸松地区の活性化に向けた取り組みについて（意見交換 及び意見集約）～
議長	はじめに、協議の進め方について 事務局より説明を求める。
事務局	《協議の進め方について説明》
	1 幸松地区の「課題」の解決に向けた方向性や取り組みについて 協議開始
議長	課題（ 1 ）情報発信が足りない について事務局から説明を求める。
事務局	《課題（ 1 ）について資料に基づき説明》
議長	事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。
委員	リーフレット作成には利点がある。SNS は高齢者には馴染みがなく、目を通さない人も多いと思う。冊子を作ってPR した方が効果がある場合もある。豊野地区の広報誌はよく作り込まれている。
委員	ハーモニーは春日部市の公式メールで情報発信している。市民センターでも同様に活用できるのではないか。
議長	幸松地区に限定した公式メールは作れるのか。
事務局	幸松地区限定のメール作成が可能かどうかは不明である。
委員	SNS について説明してほしい。
事務局	SNS 全般について説明。市としてアカウントは保有しているが、市民センター独自のアカウントを持つことができるかは不明なので、担当課に確認する。
議長	SNS は高齢者には敷居が高い。SNS にこだわらず、紙媒体を使った方が効果的な場合もある。いろいろな手段を総合的に活用するべきである。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	紙と電子媒体を併用することに賛成する。幸松地区限定でどこまでSNSを使えるのか、またどのような形で記事を掲載できるかを探っていく必要がある。
委員	紙と電子の併用に賛成する。確かに紙の方が効果的な面もある。ただし紙で作成するのは労力を要する。紙媒体を利用する場合は、事務局の作業負担や作成にかかる時間も考慮する必要がある。
事務局	子ども向けの事業に限定すれば、学校に、リーバー等のアプリを利用して発信してもらっている実績がある。
議長	予算の問題もある。
委員	SNSを使うのであれば、継続的な更新が大事である。更新が止まったものは見てもらえない。
委員	情報発信を行う際には、公民館と地区センターの役割を整理し、立場を明確にして発信する必要がある。
	質疑・意見収束
議長	<p>まとめ</p> <p>以上の意見をまとめ、予算を考慮しながら、紙媒体とSNSの両輪で、情報発信を進めていく方向で検討する。幸松地区限定の公式メール実現の可否やSNSのアカウント作成については調査する必要がある。</p>
議長	<p>課題（２）旧住民と新住民の融合が図られていない</p> <p>（３）地域コミュニティが希薄である</p> <p>について事務局から説明を求める。</p>
事務局	《課題（２）、（３）について資料に基づき説明》
議長	事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。
議長	人が集まれる場所を多く提供すればよい。そのようにすれば人同士の融合が図られる。例えば、子ども向けイベントを開催すれば親も一緒に来るはずである。
委員	既存のイベントを拡充、または内容を再検討することで、コミュニティの融合を促進する参加型のイベントになるはず。
事務局	<p>新しく予算を確保するのは難しいため、既存事業を見直すのは効果的と考えられる。</p> <p>質疑・意見収束</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	<p>まとめ</p> <p>以上の意見をまとめ、既存の事業を見直し、コミュニティの融合が促進される参加型の事業へと転換する方向で進める。</p>
議長	<p>課題（４）防災・防犯への取組みについて 事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>《課題（４）について資料に基づき説明》</p>
議長	<p>事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。</p>
議長	<p>防災は地域住民の最大の関心事項である。従来は地震体験や消火訓練など、個別・具体的な取組が多かった。能登半島地震では、避難所の本部を立ち上げるのが非常に大変だったという話を聞いている。毎年「防災のつどい」は牛島地区のみで開催されており、地区全体としての開催はない。避難所開設をテーマに、既存の「防災のつどい」の内容を広げていく形がよいのではないか。</p>
委員	<p>幸松地区には３０名の防災士が在籍している。防災士と地区長で、今後の「防災のつどい」の在り方を検討してはどうか。</p>
委員	<p>防災士を中心に展開し、地区外の住民にも広く参加してもらう形で実施してはどうか。</p>
委員	<p>幸松地区の避難所は複数あるが、本部として司令塔の役割を果たしている避難所はあるのか。</p>
事務局	<p>個々の避難所を統括し、幸松地区全体の本部として機能している避難所はない。本部はあくまでも本庁である。</p>
委員	<p>エンゼルドームでは毎月訓練を実施している。実施時に居合わせた方がそのまま参加する形で行っている。</p>
委員	<p>公民館でこのような防災・防犯の取組が行われていることを知らない人も多い。推進協議会の委員になって初めて知った。</p>
	<p>質疑・意見収束</p>
議長	<p>まとめ</p> <p>以上の意見をまとめ、「防災のつどい」の内容を、避難所を開設・運営し主体的に考える参加型にする。併せて防災コーナーの設置、防災士の活用等も検討していく。</p>
議長	<p>課題（５）高齢単身世帯への対応について 事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>《課題（５）について資料に基づき説明》</p>
議長	<p>事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。</p>
	<p>質疑・意見等なし</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	<p>まとめ 高齢単身世帯への対応で大事なものは、高齢者に外に出てきてもらい、交流してもらうことである。牛島地区では「ふれあい食事会」が毎年開催されている。先日の食事会では80歳以上を含む約60名の参加があった。公民館事業でも高齢者対象の取組が既に行われている。 意見提案で挙げられた「定期的な見守り・話し合いの場の設置」「外出のきっかけとなるイベントの開催」「来館時のアンケート実施」といった提案はいずれも「外に出て交流してもらう」という目的に合致しており、課題（５）については、提案された意見をそのまま採用する方向で進めていく。</p>
	<p>２ 市民センターのさらなる活用について 協議開始</p>
議長	市民センターのさらなる活用 について事務局から説明を求める
事務局	《２について資料に基づき説明》
議長	事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。また、「資料２ 次第４ 協議事項」に記載されている主な提案の中から、良いと思うものを選んでいただきたい。
委員	私自身、公民館は「利用しにくい」というイメージを持っている。中高生が休憩したり、友人と雑談できるスペースがあるとよい。
委員	学習スペースの拡充が望ましい。学習スペースに併設してカフェコーナーを復活させてはどうか。
委員	子ども関係の利用については、思い切ってエンゼルドームと棲み分けるのがよいと思う。
委員	憩いの場として「お茶飲み」ができる場所があるとよい。
委員	日曜日にキッチンカーを呼ぶのがよい。
事務局	キッチンカーについてだが、庄和総合支所で試験的に事業者を招致してイベントを開催した例がある。店舗を出すか否かの判断は事業者に委ねられるため、事業者が採算が取れないと判断した場合は出店してこない傾向がある。
委員	市民との協働や学校との共同企画がよい。
委員	事業の充実を図るため、イベントに関連するスタンプカードを導入するのもよい。
委員	<p>図書コーナーの充実が望ましい。</p> <p>質疑・意見収束</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	まとめ それぞれ、素晴らしい意見をいただいたが、時間や予算に限りもあるため、今日の意見を参考に事務局には市民センターとしての方向性を検討してもらいたい。
議長	3 その他、お気づきの点、ご意見等 について、事務局から説明を求める
事務局	《3 について資料に基づき説明》
議長	事務局の説明に対して、意見、質問等あるか。 質疑・意見等 特になし
議長	委員の皆様におかれては、様々なご意見をお出しいただき、ありがとうございました。以上で協議を終了とする。
議長	【5. その他】 その他、委員の皆様から何かあるか。 《意見なし》
議長	事務局から連絡事項等はあるか？
事務局	①幸松ふれあい文化祭について 1 1 月 8 日（土）・9 日（日）に開催する。 ②次回の開催日程について 令和 7 年 1 月頃を予定している。正式に日程が決まり次第通知する。 ③今回の会議録は、議事録署名人の白石委員に承認いただいた後、市のホームページで公開する。
議長	本日の議事はすべて終了となる。これをもって、本日の議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。 議事終了
事務局	【6. 閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 7 年 1 2 月 1 2 日 署名者の職・氏名 白 石 栄 二	